

農地・水・環境保全だより 第20号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

多面的機能支払（農地・水・環境保全向上）第7回みえのつどい 開催 ～みんなで取り組もう！ 更なる多面的機能の発揮を求めて～

平成 26 年 12 月 13 日（土）三重県総合文化センターにおいて、県内の活動組織や県内外の関係者約 1,000 名が一堂に会して、「みんなで取り組もう！ 更なる多面的機能の発揮を求めて」をテーマに、第7回みえのつどいが三重県・三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催された。

つどいの内容は、全体会を中ホールで開催し、その後同センター内のセミナー室等に会場を移し、4つのテーマに分かれて分科会が開催された。

全体会では、主催者を代表して三重県副知事 石垣英一氏より挨拶があり、引き続き来賓を代表して東海農政局整備部長 下舞寿郎氏、三重県議会議長 永田正巳氏より挨拶をいただいた。



開会の挨拶（石垣副知事）

その後、優秀活動組織紹介並びに表彰に移り、優秀活動組織に選ばれた4組織の取組がスクリーンで紹介された後、賞状と記念品が石垣副知事より授与された。受賞記念として、優秀活動組織の代表者が石垣副知事、永田議長、橋爪会長を囲み記念写真の撮影を行った。



石垣副知事、永田議長、橋爪会長、
受賞された活動組織の代表者との記念写真

セレモニー終了後、アトラクションとして、「何コレ・みえコレ 野良着のファッションショー」が開催され、音楽に合わせて舞台狭しとスポットを浴びながら歩いたりパフォーマンスしたりして、趣向を凝らした手作りの野良着を披露した。会場内は、笑い声や拍手で盛り上がるなか全体会は終了した。



野良着のファッションショーに
出演された皆さん

休憩を挟み、参加者はそれぞれ参加する分科会の会場へ移動した。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

第1分科会では、「環境啓発、都市住民との交流」をテーマに、一般参加の子供たちと一緒に、関西を中心に活動している「メダカのコタロー劇団」による環境アニメ紙芝居「生態を乱す外来生物『くちびる城が外来生物にうばわれたって!?!』」を鑑賞し生態系保全について学んだ。その後、活動組織から提供のあった農産物の抽選が行われ、当選した方は、嬉しいお土産を貰って満足そうであった。



農産物の抽選で当選された参加者



「メダカのコタロー劇団」による
環境アニメ紙芝居



第2分科会の様子

第2分科会では、「補修メンテナンス、工法説明等」をテーマに、積水化学工業（株）、（株）ホクコン、（株）エフイーエス、フロンテエンジニア（株）、（有）シンエイ測器の5業者の担当者より、それぞれ特徴のある補修工法等をパワーポイントや、実演を通じて説明を受けた。その後、参加者がそれぞれの企業ブースを見て回り、日頃苦勞している補修工法等の説明に聞き入っていた。

第3分科会では、「地域コミュニティ」をテーマに、NPO法人TEAM田援の筒井義富氏の講演後、地域コミュニティの強化に向けた意見交換を各テーブル別に行い、話し合った内容を発表し、講師から講評をいただいて終了した。



第3分科会の様子



第4分科会の様子

第4分科会では、「農村環境」をテーマに、カネコ種苗（株）伊東悟氏及び福花園種苗（株）藤田和義氏に講師をお願いし、景観形成作物の栽培ポイントと活用事例を紹介していただき、参加者は熱心に聞き入っていた。また、活発な意見交換が行われた。

各分科会とも予想を遙かに超える参加者申し込みがあり、第1希望の分科会に参加できるよう調整を行ったが会場の関係で第2希望、第3希望の分科会に変更をお願いした組織もあったため、ご迷惑をお掛けしました。

また、来年度「第8回みえのつどい」は平成27年12月12日（土）に開催する予定です。

（優秀活動組織の紹介）

【施設部門】『こころ豊かなあわの村』（伊勢市）

この組織は、伊勢市栗野町（あわのちょう）で活動しています。

組織の結成は平成19年で、平成23年からは、交付金を活用して施設の長寿命化に取り組んできました。

この地域には、素掘り（すぼり）の農業排水路がたくさんあり、安全性や維持管理の負担が問題になっていました。そこで、地域のみなさんが話し合って排水路を施工しました。

施工に当たっては、地域を守る意識を高めるために、測量や設計、現場の交通整理など、自分たちでできることは自分たちで取り組んでいます。

【農村環境部門】

『富岡（とみおか）の土と水、環境を守る会』（玉城町）

平成19年から活動続けるこの組織は、子どもからお年寄りまで、地域ぐるみで参加できる体制づくりに取り組んでいます。

特に女性を役員に登用したことから、より活動の幅が広がりました。

「ひまわり栽培」や「ひまわり油作り」、「地域の昆虫調査」などの取組により、笑顔の絶えない富岡地区を目指した活動をしています。このような活動により、地域のみなさんの農村環境への理解が深まっています。



【コミュニティ部門】
『むらおこし・かみみいと』（明和町）

平成19年から活動するこの組織は、地域の11の地区がそれぞれ計画を立てて農道や施設の補修を行っています。

その一方で、地域全体の活動として、地元の小学校4年生が地域を流れる祓川（はらいがわ）で水生生物調査を行ったり、3年生と5年生が昔ながらの農法で稲作体験をする活動に取り組んでいます。

この活動をとおして、子どもたちからお年寄りまで、世代を超えて地域を守る取組を続けています。



【パブリシティ部門】
『依那具(いなぐ)の環境を守る会』（伊賀市）

平成20年から活動を続けるこの組織では、A3用紙両面というボリュームの「依那具環境通信」を毎月発行しています。この通信では、組織が取り組む花作りの話題など、活動組織の情報をお伝えしています。

地元のみなさんは、毎月、この通信を楽しみにしており、地域の重要なコミュニケーションツールになっています。

また、ケーブルテレビなどマスコミへの情報提供や、パネル展示による広報など、積極的なパブリシティにも取り組んでいます。

◎事務局からのお知らせ◎

○日頃の皆さまの活動を「たより」に紹介したいと考えております。紹介を希望される方は事務局までどんどん投稿して下さい。

投稿先 〒514-0006
 津市広明町330番地（三重県土地改良事業団体联合会内）
 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
 TEL 059-226-4824 FAX 059-225-7332

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

2015 年（平成）27 年 1 月 13 日

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会